



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 妙徳
コード番号 6265 URL <http://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢幸治
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 庄瀬元洋

TEL 03-3759-1491

四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	602	12.3	112	6.3	114	5.8	74	6.0
26年12月期第1四半期	536	13.4	106	109.2	107	99.1	70	111.3

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 84百万円 (32.5%) 26年12月期第1四半期 63百万円 (9.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	10.08	10.02
26年12月期第1四半期	9.43	9.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	4,100	3,615	87.7
26年12月期	4,021	3,574	88.3

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 3,595百万円 26年12月期 3,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	5.00	—	4.00	9.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	3.50	—	5.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,268	11.4	216	5.3	223	6.1	79	△42.6	10.78
通期	2,631	11.0	457	22.1	472	16.7	240	2.3	32.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	8,285,000 株	26年12月期	8,285,000 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	896,125 株	26年12月期	856,125 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	7,411,376 株	26年12月期1Q	7,478,428 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済政策、日銀の金融政策の効果もあり、企業業績や雇用情勢の改善が進むなど、景気は緩やかな回復基調にありました。しかしながら、消費税率の引き上げに伴う影響の長期化や、中国をはじめとする新興国の景気減速懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、顧客ニーズに応える迅速な新製品開発と拡販の体制をより強固にし、売上拡大に取り組むとともに、海外生産の拡充によるコストダウン取り組み、生産性向上の取り組みによる製品原価率の低減などに取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は602,031千円（前年同期比112.3%）、連結経常利益は114,170千円（前年同期比105.8%）、連結四半期純利益は74,724千円（前年同期比106.0%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

輸出関連業界、スマートフォン向け電子部品業界の設備投資の改善、消費税増税前の駆け込み需要もあり、売上高は398,037千円（前年同期比107.2%）となりました。営業利益については76,549千円（前年同期比93.3%）となりました。

② 韓国

現地調達率の拡大により、コストダウン及び製品供給体制の強化を図り、既存顧客の深耕及び新規顧客の開拓を推し進めてまいりました。この結果、売上高は124,247千円（前年同期比126.3%）となりました。営業利益については26,800千円（前年同期比148.6%）となりました。

③ 中国

成長鈍化による景気減速懸念がありましたが、販売体制を強化し拡販を推し進めてまいりました。スマートフォン関連設備向けへの拡販に努めた結果、売上高は57,186千円（前年同期比129.0%）となりました。営業利益については、売上高の増加、円安の影響による仕入価格の減少などにより9,339千円（前年同期比180.6%）となりました。

④ その他

タイ国を中心に、東南アジア市場への拡販活動を推し進めてまいりました。この結果、売上高は22,559千円（前年同期比101.7%）となりました。営業利益については、人件費の増加などにより59千円（前年同期比5.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ58,779千円増加し、1,794,594千円となりました。これは主として、現金及び預金が15,896千円、原材料が22,267千円、製品が12,401千円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が9,093千円減少したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ20,230千円増加し、2,306,377千円となりました。これは主として、投資有価証券が15,998千円増加したことによりです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ79,009千円増加し、4,100,971千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ30,549千円増加し、352,657千円となりました。これは主として、賞与引当金が41,885千円、支払手形及び買掛金が21,736千円増加したのに対し、未払法人税等が25,193千円、役員賞与引当金が13,187千円減少したことによりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ7,151千円増加し、132,407千円となりました。これは主として、退職給付に係る負債が3,685千円、長期繰延税金負債が3,464千円増加したことによりです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ37,701千円増加し、485,064千円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ41,308千円増加し、3,615,906千円となりました。これは主として利益剰余金が45,008千円増加したことによりです。

その結果、自己資本比率は87.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想につきましては、第1四半期の実績に鑑み、変更をいたしておりませんが、今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	757,385	773,281
受取手形及び売掛金	538,924	529,830
製品	157,544	169,946
仕掛品	70,242	76,021
原材料	117,713	139,980
繰延税金資産	51,501	58,627
その他	42,864	47,726
貸倒引当金	△359	△820
流動資産合計	1,735,814	1,794,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,454,129	1,474,101
減価償却累計額	△580,733	△595,857
建物及び構築物(純額)	873,395	878,243
機械装置及び運搬具	786,969	802,401
減価償却累計額	△589,903	△591,764
機械装置及び運搬具(純額)	197,065	210,637
土地	741,186	740,893
その他	522,312	527,857
減価償却累計額	△444,108	△454,780
その他(純額)	78,204	73,076
有形固定資産合計	1,889,852	1,902,851
無形固定資産	94,863	88,558
投資その他の資産		
投資有価証券	182,162	198,161
繰延税金資産	1,212	-
長期預金	52,406	52,113
その他	65,649	64,691
投資その他の資産合計	301,430	314,967
固定資産合計	2,286,146	2,306,377
資産合計	4,021,961	4,100,971

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,014	67,750
未払法人税等	74,724	49,530
賞与引当金	35,335	77,221
役員賞与引当金	23,188	10,000
その他	142,845	148,153
流動負債合計	322,108	352,657
固定負債		
退職給付に係る負債	104,792	108,478
繰延税金負債	7,034	10,498
その他	13,428	13,430
固定負債合計	125,255	132,407
負債合計	447,363	485,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	945,766	945,766
利益剰余金	1,939,245	1,984,254
自己株式	△189,699	△201,690
株主資本合計	3,443,437	3,476,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,826	40,919
為替換算調整勘定	79,613	77,644
その他の包括利益累計額合計	109,439	118,563
新株予約権	11,734	11,734
少数株主持分	9,985	9,153
純資産合計	3,574,597	3,615,906
負債純資産合計	4,021,961	4,100,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	536,234	602,031
売上原価	222,209	224,048
売上総利益	314,024	377,983
販売費及び一般管理費	207,934	265,234
営業利益	106,090	112,748
営業外収益		
受取利息	442	496
助成金収入	1,800	-
受取地代家賃	1,425	2,915
その他	222	350
営業外収益合計	3,890	3,762
営業外費用		
売上割引	45	56
為替差損	549	875
減価償却費	1,375	1,185
その他	82	222
営業外費用合計	2,053	2,340
経常利益	107,928	114,170
特別利益		
固定資産売却益	-	1,304
新株予約権戻入益	274	-
特別利益合計	274	1,304
特別損失		
固定資産除却損	240	-
特別損失合計	240	-
税金等調整前四半期純利益	107,962	115,475
法人税、住民税及び事業税	32,587	46,555
法人税等調整額	4,639	△5,988
法人税等合計	37,226	40,566
少数株主損益調整前四半期純利益	70,735	74,908
少数株主利益	217	184
四半期純利益	70,517	74,724

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,735	74,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,928	11,092
為替換算調整勘定	△11,246	△1,968
その他の包括利益合計	△7,318	9,123
四半期包括利益	63,416	84,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,763	83,771
少数株主に係る四半期包括利益	653	260

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	371,366	98,357	44,333	514,057	22,177	536,234
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70,203	8,641	2,663	81,509	—	81,509
計	441,570	106,998	46,997	595,566	22,177	617,743
セグメント利益	82,077	18,030	5,172	105,280	1,130	106,411

(注)「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	105,280
「その他」の区分の利益	1,130
セグメント間取引消去	△320
四半期連結損益計算書の営業利益	106,090

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	398,037	124,247	57,186	579,471	22,559	602,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	91,704	33,423	1,365	126,492	—	126,492
計	489,741	157,670	58,552	705,964	22,559	728,524
セグメント利益	76,549	26,800	9,339	112,689	59	112,748

(注)「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	112,689
「その他」の区分の利益	59
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	112,748

(重要な後発事象)

平成27年4月21日開催の臨時取締役会において、平成27年3月19日開催の第64期定時株主総会終結の時をもって退任した取締役1名に対して、特別功労金94,174千円を支給する旨を平成27年6月18日開催の臨時株主総会に付議することを決議いたしました。同総会において承認された特別功労金については、特別損失として計上する予定であります。

なお、平成17年6月24日開催の第54期定時株主総会において廃止のご承認をいただいた役員退職慰労金と合算し、114,033千円を支給することとなります。